

令和5年3月10日
愛媛大学
太陽石油株式会社

愛媛大学大学院農学研究科 寄附講座「昆虫の飼料利用科学」
「昆虫を原料とした飼料によるマダイの養殖実証試験」
～ミールワームを含んだ飼料で生育したマダイ～
(記者説明会及び試食会を実施)

愛媛大学では、太陽石油株式会社からの寄附金により、大学院農学研究科に設置しました寄附講座「昆虫の飼料利用科学」の活動の一環として、秀長水産株式会社の協力のもと、宇和島市内の養殖漁場において、昆虫を原料とする養殖飼料を用いた世界初の実証試験を行いました。

このたび、本実証試験で生産されたマダイを4月に出荷することとなりました。

記者説明会当日は、お越しいただいた皆様のための試食もご用意いたしておりますので、この機会にぜひお試しください。

つきましては、下記のとおり記者説明会及び試食会を実施しますので、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

記

■日時：令和5年3月17日(金) 13時～

■場所：秀長水産株式会社 築地フィッシュファクトリー2階
(宇和島市築地町2-6-23)

■会見者：愛媛大学大学院農学研究科長 やまうち さとし 山内 聡

愛媛大学大学院農学研究科 教授 みうら たけし 三浦 猛

太陽石油株式会社 執行役員 未来事業デザイン室長 やまかわ のりお 山川 哲央

太陽石油株式会社 未来事業デザイン室(松山所在) マネージャー なかはら たかあき 中原 誉晃

<取材に関するお願い>

取材にお越しいただける場合は、3月15日(水)17時までに下記URL又は二次元コードからお申し込みください。

※申込多数の場合は人数制限させていただく場合もありますので、あらかじめご了承ください。

<https://forms.office.com/r/t7Lk5izYAz>



本件に関する問い合わせ先

愛媛大学大学院農学研究科

教授 三浦 猛

TEL：089-946-3684

Mail：miura.takeshi.mx@ehime-u.ac.jp

※送付資料2枚(本紙を含む)

【概要】

昆虫は、持続的に生産可能な食料・飼料資源として注目されています。世界人口が爆発的に増大する中で、未来の食糧危機を救う手段として、昆虫食や、昆虫を利用した畜産・水産用の飼料の開発が世界各国で進められています。

愛媛大学では、太陽石油株式会社の寄附により、昨年6月1日に「昆虫の飼料利用科学講座」を開設し、飼料用の昆虫（ミールワーム）生産の事業化を目指した研究開発を開始しました。この研究活動の一環として、ミールワームが養殖用の飼料として使用可能か否かを確かめることを目的に、秀長水産株式会社（宇和島市）のご協力のもと、愛媛県宇和島市のマダイの養殖場で8,000尾のマダイを用い、本格的な養殖実証試験を昨年7月1日から開始しました。試験魚は順調に成長し、本年4月から市場に出荷する運びとなりました。今回は、ミールワームを含んだ飼料で育成した試験マダイの試食を行うとともに、実証試験での試験マダイの成長の過程および試験マダイの解析結果、寄附講座で行われている研究成果および今後の展望等をご報告いたします。



試験魚からのサンプル採集（左）と11月に行われた試食会（右）